

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

57-144332

(43) Date of publication of application: 06.09.1982

(51)Int.CI.

F16H 1/10 // F16H 37/02

(21)Application number: 56-030119

(71)Applicant: BRIDGESTONE CYCLE CO

(22)Date of filing:

03.03.1981

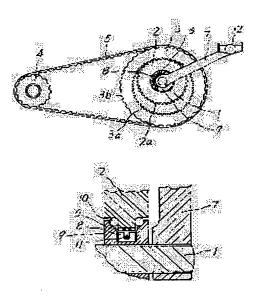
(72)Inventor: TAKAMIYA KIKUZO

# (54) DRIVING DEVICE OF FLOATING RING GEAR

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To make the whole device smaller by a method wherein an unidirectional rotation transmission mechanism is interposingly provided between a drive gear and a drive shaft in the device in which the ring gear is floatingly pivoted by the drive gear inscribedly engaging with the internal gear of the ring gear in such a manner as is used in the driving device of a bicycle or the like.

CONSTITUTION: The driving device of the bicycle is a mechanism in which pedal effort is transmitted by rotating the driving shaft 1 through a crank 7 by means of treading on a pedal 12 to the ring gear 3 floatingly rotated by the engagement of the drive gear 2 equipped on the drive shaft 1 with the internal gear 3a of the ring gear 3 and then, through a toothed belt or the like 5, to a driven wheel 4. In this case, a ratchet 6 is formed in the inner peripheral surface of the drive gear 2 as the unidirectional rotation transmission mechanism while a core 9 provided with a pawl 8 inscribedly engaging with the ratchet 6 at unidirectional rotation is fixed onto the drive shaft 1, otherwise the drive gear 2 and the drive shaft 1 are rotatably jointed with each other through bearings 10. As a result, the need for the unidirectional rotation transmission mechanism of the driven wheel 4 is eliminated, resulting in making the whole device smaller.



# **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

印日本国特許庁(JP) ① 特許出願公告

⑫特 許 報(B2) 昭59-20053 公

(5)Int.Cl.3

識別配号

庁内整理番号

2000公告 昭和59年(1984)5月10日

F 16 H 37/02 7812-3 J 2125-3 J

5

発明の数 1

(全2頁)

1

図浮動リングギヤの駆動装置

②特 願 昭56-30119

**223**出 願 昭56(1981) 3月3日

旸公 開 昭57—144332

@昭57(1982)9月6日

②発 明 高宮 喜久三 沯

号

北本市東間3の33

人 ブリヂストンサイクル株式会社 勿出 願 東京都中央区日本橋3丁目5番14 10

邳代 理 人 弁理士 杉村 暁秀 外1名

#### 動特許請求の範囲

リングギャの内歯と内接嚙合する駆動歯車に よりリングギヤを浮動状態で回転駆動すると共に、 リングギャと従動車の外周に伝動帯を掛け渡した 装置において、前記駆動歯車と、その駆動軸との 間に一方向回転伝動機構を設けたことを特徴とす る浮動リングギヤの駆動装置。

## 発明の詳細な説明

本発明は一方向回転伝動機構を組み込んだ浮動 リングギの駆動装置に関するものである。

本出願人は先に第1図に示すよりに、駆動軸1 に結合した駆動歯車2の外歯2aへ、支持軸がな 25 い環状体のリングギヤ3の内歯3aを内接嚙合す ると共に、リングギャ3の外歯3bと従動車4と に歯付ベルトあるいはチエーン5を掛け渡して伝 動する自動張力調節機構を有するベルト伝動装置 ( 特願昭 55-93234号 )を提案した。

そしてこのような装置を、例えば自転車の駆動 装置として実用化する場合には、従動車4に一般 自転車と同じように一方向回転伝動機構、例えば ラチエツト機構を組み込んだフリーホイールとす ることが要求される。

しかしながら従動車 4 にラチエツト機構等の一 方向回転伝動機構を組み込むと、従動車4の径が 大きくなり、したがつてギャ比の関係から相対的 にリングギャ3の径も大きくする必要が生じるた め、駆動装置として大型になるという欠点があつ た。

2

本発明はこのような欠点を解消するためになさ れたもので、浮動リングギャの駆動装置を自転車 の駆動装置として実用化すると共に、従動車 4 と リングギャ3を小径とし、この種駆動装置の小型 軽量化を図ることを目的とするものである。

以下図面に基づいて本発明の実施例を説明する。 図中1は駆動軸、2は駆動歯車、3はリングギャ、 4は従動車、5は歯付ベルトである。

本発明においては、リングギャ3の内歯3aと 内接嚙合する駆動歯車 2によりリングギャ3を浮 動状態で回転駆動するようにした装置において、 駆動歯車2の内周面に一方向回転伝動機構として ラチエツト 6を形成すると共に、クランク7と一 体的な駆動軸1には前記ラチエット6と一方向の 回転のみに内接嚙合する爪 8 を設けた中子 9を固 20 定し、ベアリング 10を介して駆動歯車 2と駆動 軸1とを回転自由に結合する。

なお11は爪 8を嚙合方向に付勢する爪ばね、 12はペダルである。

また、リングギャ3の外歯3bと従動車4との 間に歯付ベルトあるいはチエーン5を掛け渡すこ とは前記した通りである。

上記実施例では一方向回転伝動機構としてラチ エツト機構を示したが、他のどのような一方向回 転伝動機構(一方向クラッチ)でも差し支えない。 次に本発明の作用効果を説明する。

上述のように本発明においては、浮動リングギ ヤの駆動装置において、駆動歯車2と駆動軸1と の間に一方向回転伝動機構を組み込む構成とした ので、クランク7の回転と駆動歯車2とは一方向 35 の回転伝動装置となり、例えば自転車の場合、自 転車が走つている間はクランク 7 およびペダル12 の回転を休めたり逆回転も可能であり、また前進

30

(2)

4

方向の回転時にのみ駆動歯車2へ回転を伝えるので、自転車の駆動装置として実用化することができると共に、従動車4にラチエット機構等を組み込まないので従動車4は小径となり、ギャ比の関係から相対的にリングギャ3の径も小径となる。 5したがつて本発明によれば、装置全体が小型軽量になつて、材料も少なくてすむばかりか、外観的にもコンパクトとなり、搭乗者の安全性にも寄与

3

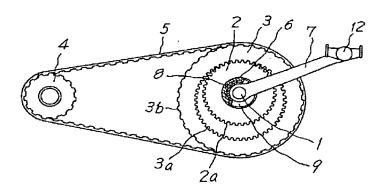
するといり効果が得られる。

### 図面の簡単な説明

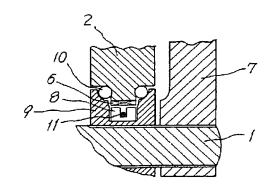
第1図は本発明装置の一部切欠正面図、第2図はその要部の拡大断面図である。

1 ……駆動軸、2……駆動歯車、3……浮動リングギヤ、4……従動車、5……歯付ベルト(チエーン)、6……ラチエツト、7……クランク、8……爪、9……中子。

第1図



第2図



BEST AVAILABLE COPY